



第54回 法人企業景気予測調査  
(宮崎県の概要)

平成29年7-9月期調査

財務省九州財務局

宮崎財務事務所

連絡問い合わせ先：

九州財務局

宮崎財務事務所財務課

TEL:0985-22-7101(代)

ホームページアドレス

<http://kyusyu.mof.go.jp/miyazaki/>

# 調 査 要 領

## 1. 調査の根拠と目的

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施した。

## 2. 調査対象の範囲

資本金、出資金又は基金(以下、資本金という。)1千万円以上の法人。  
ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上を対象とする。

## 3. 調査時点

平成 29 年 8 月 15 日

## 4. 調査対象期間

判断調査 : 平成29年 7月 - 9月(又は 9月末) 現状判断・実績見込み  
平成29年10月 - 12月(又は12月末) 見通し I  
平成30年 1月 - 3月(又は 3月末) 見通し II

計数調査 : 平成29年度 上期実績見込み及び下期見通し(計画)

## 5. 調査方法

調査票を郵送し、又はインターネットを通じてのオンライン調査により、自計記入を求める方法によった。

## 6. 調査対象企業の選定方法及び調査票の回収状況

(1) 宮崎県における法人企業統計(基幹統計)四半期別調査の標本企業の名簿などから無作為抽出した。

なお、毎年4-6月期調査前に抽出替えを行っている。

(2) 調査対象企業及び回収状況

(単位:社、%)

区 分	調査対象企業数	回答企業数	回 収 率
全 産 業	118	109	92.4
製 造 業	44	39	88.6
非 製 造 業	74	70	94.6
規 大 企 業	15	15	100.0
模 中 堅 企 業	41	37	90.2
別 中 小 企 業	62	57	91.9

(注) 本調査において、大企業とは資本金10億円以上の企業を、中堅企業とは資本金1億円以上10億円未満の企業を、中小企業とは資本金1千万円以上1億円未満の企業をいう。

《BSI》について

BSI (ビーエスアイ:Business Survey Index) は、上昇、下降などの変化方向別回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものである。

※ B S I = (「上昇」等と回答した企業の構成比)  
－ (「下降」等と回答した企業の構成比)

(例) 「貴社の景況」の場合、前期と比べて

「上昇」と回答した企業の構成比 25.0%

「不変」と回答した企業の構成比 55.0%

「下降」と回答した企業の構成比 15.0%

「不明」と回答した企業の構成比 5.0%

B S I = 25.0% - 15.0% = 10.0%ポイント

…… 10.0%ポイントの「上昇」超

## 1. 平成29年7－9月期調査の概要

宮崎財務事務所では、平成29年8月15日を調査時点として、宮崎県内の企業118社(回答企業数109社)を対象に「法人企業景気予測調査」を実施した。

### 【景況判断】…製造業では「下降」超幅が拡大し、非製造業では「下降」超

29年7-9月期の景況判断BSIをみると、前期(29年4-6月期)に比べ、製造業では「下降」超幅が拡大し、非製造業では「上昇」「下降」同数から「下降」超となっている。

規模別にみると、大企業では「上昇」「下降」同数から「下降」超となり、中堅企業では「下降」超に転じ、中小企業では「下降」超幅が拡大している。

先行き(全産業)については、「上昇」超に転じたのち、「下降」超に転じる見通しとなっている。

### 【売上高】…29年度通期は減収見通し

29年度通期は、製造業では0.7%の減収見通し、非製造業では0.8%の増収見通しとなっており、全産業では0.2%の減収見通しとなっている。

### 【経常利益】…29年度通期は減益見通し

29年度通期は、製造業では7.1%の増益見通し、非製造業では24.1%の減益見通しとなっており、全産業では6.9%の減益見通しとなっている。

### 【設備投資】…29年度通期は増加見通し

29年度通期は、製造業では45.7%、非製造業では107.2%の増加見通しとなっており、全産業では56.8%の増加見通しとなっている。

### 【雇用】…従業員数判断は、製造業、非製造業ともに「不足気味」超幅が縮小

29年9月末時点の従業員数判断BSIをみると、前期(29年6月末)に比べ、製造業、非製造業ともに「不足気味」超幅が縮小している。

規模別にみると、大企業、中堅企業では「不足気味」超幅が拡大し、中小企業では「不足気味」超幅が縮小している。

先行き(全産業)については、「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

### 【企業金融】…資金繰り判断は、製造業では「改善」超に転じ、

非製造業では「悪化」超幅が拡大

29年7-9月期の企業の資金繰り判断BSIをみると、前期(29年4-6月期)に比べ、製造業では「改善」超に転じ、非製造業では「悪化」超幅が拡大している。

規模別にみると、大企業では「改善」「悪化」同数から「改善」超となり、中堅企業では「悪化」超幅が拡大し、中小企業では「改善」「悪化」同数から「悪化」超となっている。

先行き(全産業)については、「悪化」超で推移する見通しとなっている。

## 2. 景況判断

製造業では「下降」超幅が拡大し、非製造業では「下降」超

29年7-9月期の景況判断BSIをみると、前期(29年4-6月期)に比べ、製造業では「下降」超幅が拡大し、非製造業では「上昇」「下降」同数から「下降」超となっている。

規模別にみると、大企業では「上昇」「下降」同数から「下降」超となり、中堅企業では「下降」超に転じ、中小企業では「下降」超幅が拡大している。

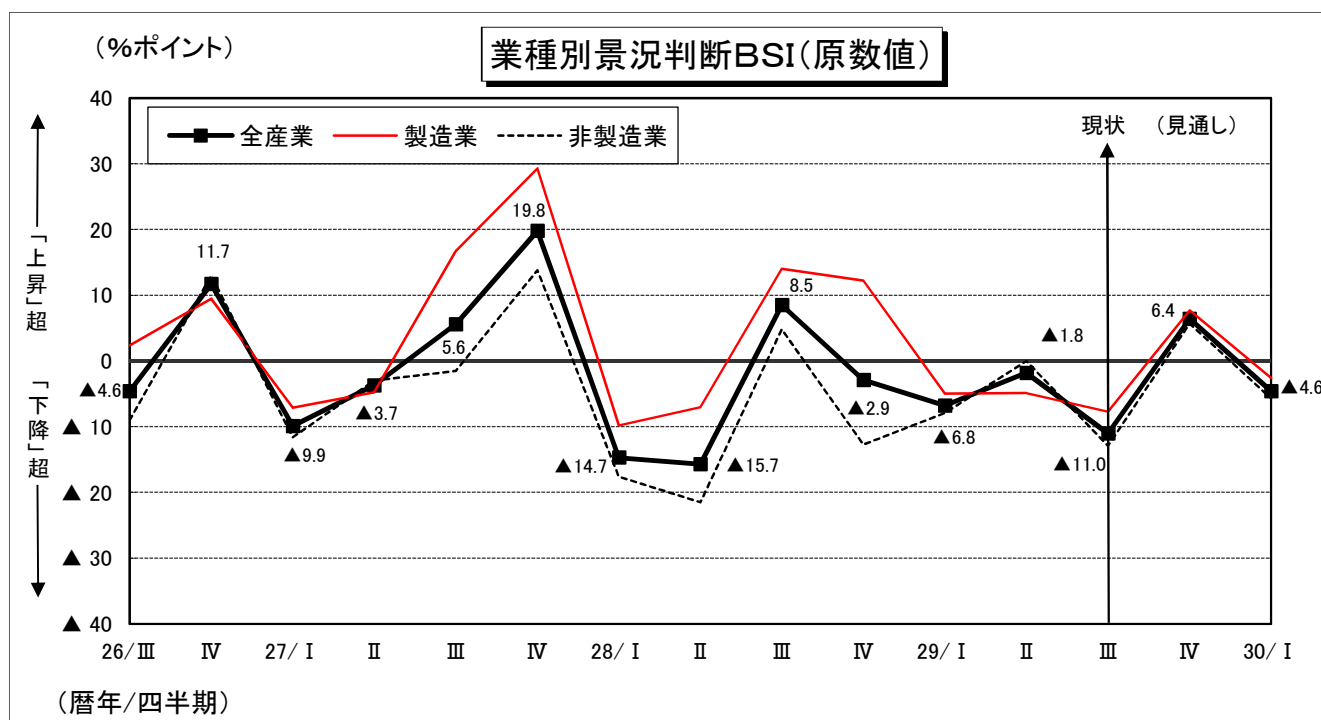
先行き(全産業)については、「上昇」超に転じたのち、「下降」超に転じる見通しとなっている。

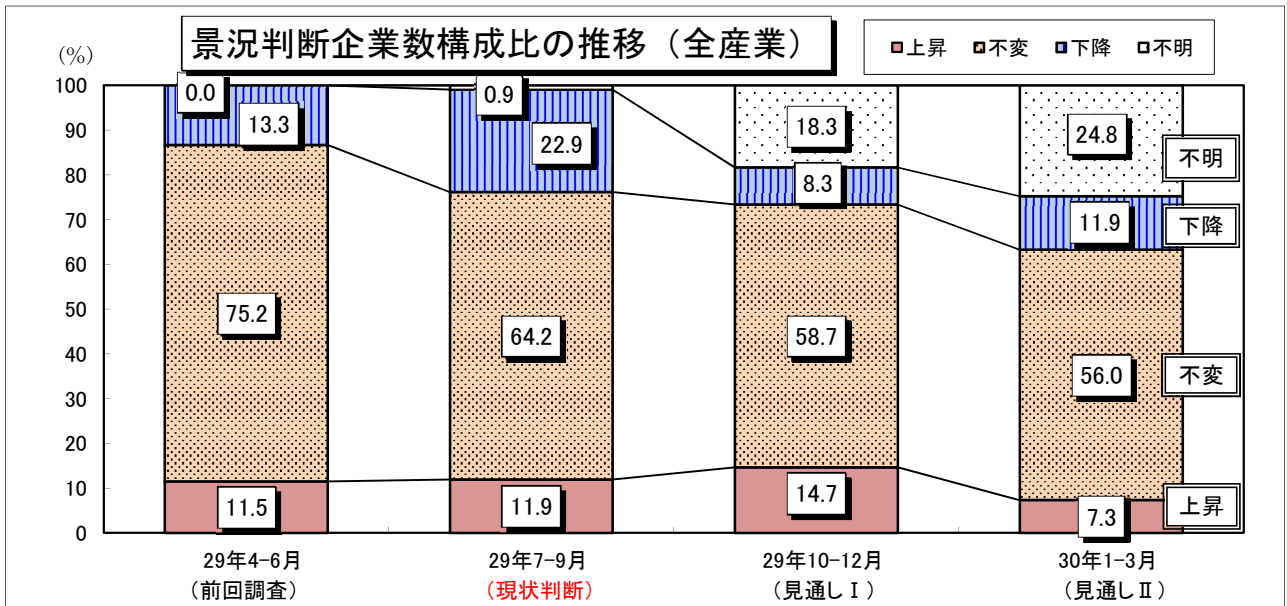
景況判断 B S I (前期比「上昇」-「下降」の企業数構成比)

(単位:社、%ポイント)

		回 答 企業数	29年4-6月 (前回調査)	29年7-9月 (現状判断)	29年10-12月 (見通し I)	30年1-3月 (見通し II)
全 産 業		109	▲1.8	( ▲5.3 ) ▲11.0	( 3.5 ) 6.4	▲4.6
	製 造 業	39	▲4.9	( 2.4 ) ▲7.7	( 12.2 ) 7.7	▲2.6
	非 製 造 業	70	0.0	( ▲9.7 ) ▲12.9	( ▲1.4 ) 5.7	▲5.7
規 模 別	大 企 業	15	0.0	( ▲6.7 ) ▲13.3	( 0.0 ) ▲6.7	▲6.7
	中 堅 企 業	37	15.4	( 0.0 ) ▲2.7	( 7.7 ) 8.1	▲8.1
	中 小 企 業	57	▲13.6	( ▲8.5 ) ▲15.8	( 1.7 ) 8.8	▲1.8

(注) ( )書きは前回調査結果。



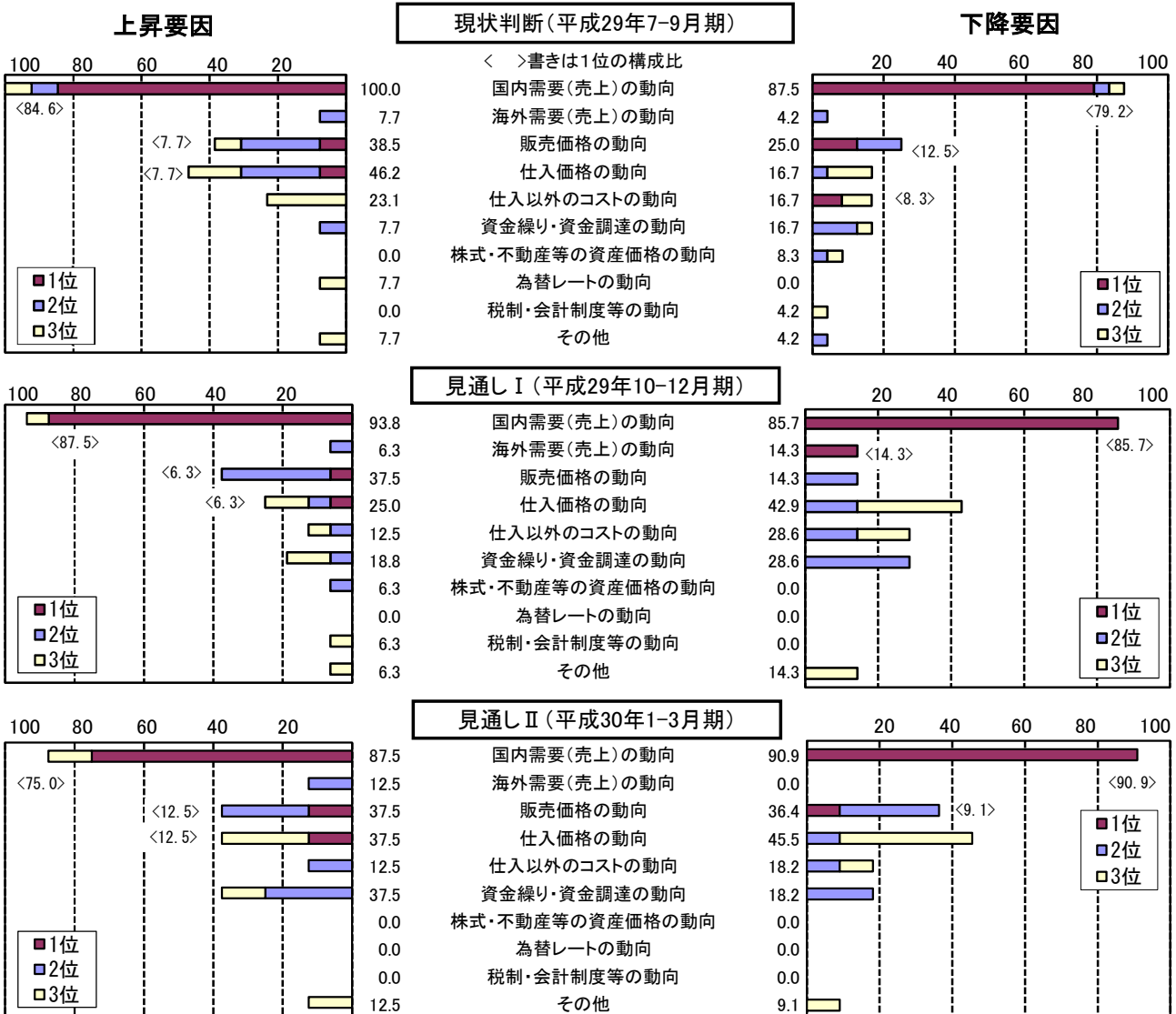


(注) 端数整理の関係により、「上昇」+「不変」+「下降」+「不明」=100にならない場合がある。

### ○景況判断の決定要因の構成比

(回答企業数構成比: %)

(「上昇」要因、「下降」要因ともに、重要度の高い順からの複数回答(1社3項目以内)の企業数構成比を合計したもの)



### 3. 売上高（電気・ガス・水道を除く）

#### 29年度通期は減収見通し

29年度通期は、製造業では0.7%の減収見通し、非製造業では0.8%の増収見通しとなっており、全産業では0.2%の減収見通しとなっている。

規模別にみると、すべての規模で、減収見通しとなっている。

#### 売上高（前年比増減率）

（単位：社、％）

	回答 企業数	29年度					
		上期		下期		通期	
全産業	67	( 2.7 )	1.1	( 2.0 )	▲1.5	( 2.3 )	▲0.2
製造業	30	( 3.0 )	0.4	( 3.2 )	▲1.7	( 3.1 )	▲0.7
非製造業	37	( 1.7 )	2.7	( ▲1.7 )	▲1.1	( ▲0.0 )	0.8
規模別							
大企業	8	( 7.7 )	1.3	( 7.3 )	▲1.5	( 7.5 )	▲0.2
中堅企業	27	( ▲1.0 )	0.8	( ▲1.5 )	▲1.2	( ▲1.2 )	▲0.2
中小企業	32	( 4.0 )	2.4	( 0.0 )	▲4.5	( 2.0 )	▲1.2

（注1）（ ）書きは前回調査結果。

（注2）金融、保険は調査対象外。

### 4. 経常利益（電気・ガス・水道、金融、保険を除く）

#### 29年度通期は減益見通し

29年度通期は、製造業では7.1%の増益見通し、非製造業では24.1%の減益見通しとなっており、全産業では6.9%の減益見通しとなっている。

規模別にみると、大企業、中堅企業では減益見通し、中小企業では増益見通しとなっている。

#### 経常利益（前年比増減率）

（単位：社、％）

	回答 企業数	29年度					
		上期		下期		通期	
全産業	67	( ▲22.0 )	13.6	( ▲20.2 )	▲23.5	( ▲21.0 )	▲6.9
製造業	30	( ▲12.2 )	50.8	( ▲11.2 )	▲21.9	( ▲11.6 )	7.1
非製造業	37	( ▲34.8 )	▲22.4	( ▲37.5 )	▲25.9	( ▲36.1 )	▲24.1
規模別							
大企業	8	( ▲45.9 )	20.2	( ▲25.7 )	▲37.1	( ▲33.3 )	▲13.8
中堅企業	27	( ▲10.8 )	0.7	( ▲15.2 )	▲9.2	( ▲13.0 )	▲4.2
中小企業	32	( 31.2 )	110.2	( ▲9.1 )	69.7	( 7.4 )	86.9

（注）（ ）書きは前回調査結果。

## 5. 設備投資

### 29年度通期は増加見通し

29年度通期は、製造業では45.7%、非製造業では107.2%の増加見通しとなっており、全産業では56.8%の増加見通しとなっている。

規模別にみると、大企業、中堅企業では増加見通し、中小企業では減少見通しとなっている。

設備投資（前年比増減率）

（単位：社、％）

	回答 企業数	29年度					
		上期		下期		通期	
全産業	77	( 17.7 )	67.6	( 2.3 )	48.6	( 8.6 )	56.8
製造業	32	( ▲1.5 )	18.1	( 17.5 )	67.8	( 9.3 )	45.7
非製造業	45	( 113.3 )	332.8	( ▲45.2 )	▲28.4	( 5.7 )	107.2
規模別							
大企業	12	( 12.3 )	133.8	( 46.9 )	64.9	( 34.4 )	91.6
中堅企業	28	( 1.6 )	18.2	( ▲45.5 )	29.1	( ▲24.1 )	23.9
中小企業	37	( 250.8 )	▲45.7	( ▲29.4 )	43.0	( 72.6 )	▲6.1

（注1）（ ）書きは前回調査結果。

（注2）本調査では、有形固定資産及びソフトウェアの新設額を設備投資として扱っている。

（注3）設備投資額には、ソフトウェア投資額を含め、土地購入額を除く。



## 6. 雇 用

### 従業員数判断は、製造業、非製造業ともに「不足気味」超幅が縮小

29年9月末時点の従業員数判断BSIをみると、前期(29年6月末)に比べ、製造業、非製造業ともに「不足気味」超幅が縮小している。

規模別にみると、大企業、中堅企業では「不足気味」超幅が拡大し、中小企業では「不足気味」超幅が縮小している。

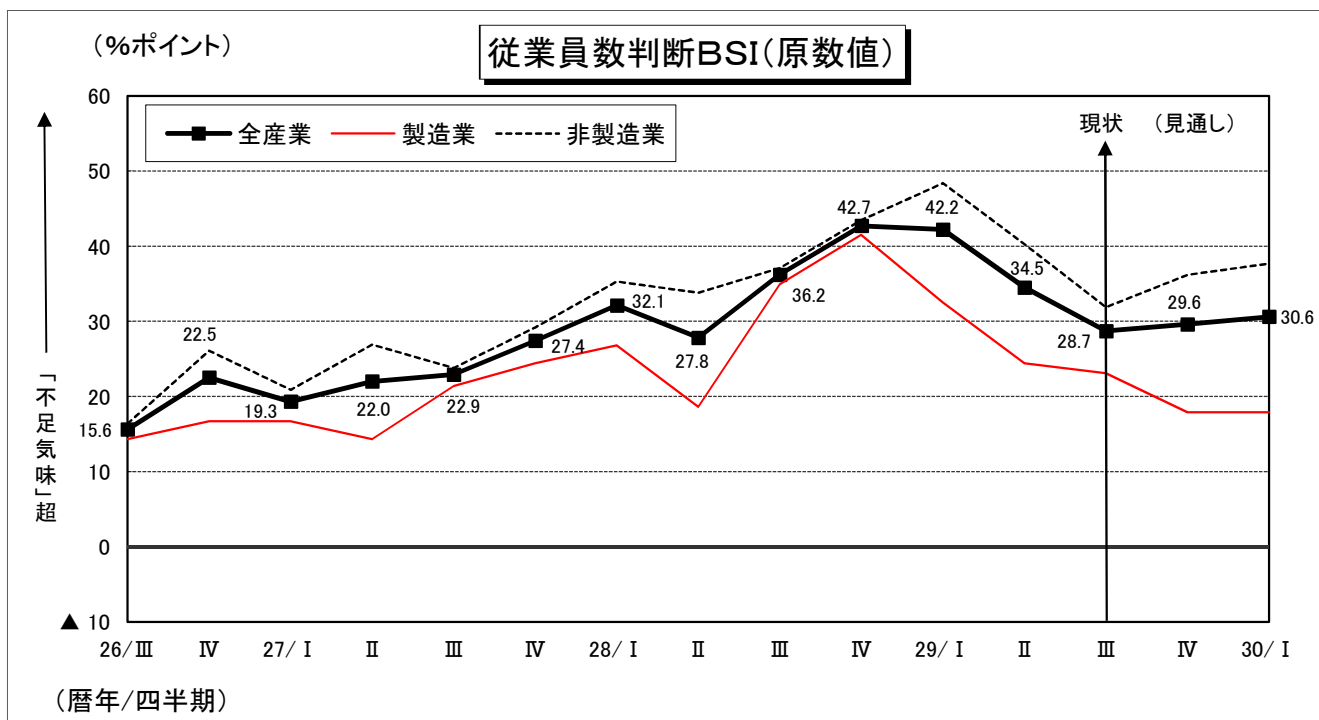
先行き(全産業)については、「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

### 従業員数判断 B S I (期末判断「不足気味」-「過剰気味」の企業数構成比)

(単位:社、%ポイント)

	回 答 企業数	29年6月末 (前回調査)	29年9月末 (現状判断)	29年12月末 (見通し I)	30年3月末 (見通し II)
全 産 業	108	34.5	( 26.5 ) 28.7	( 28.3 ) 29.6	30.6
製 造 業	39	24.4	( 14.6 ) 23.1	( 17.1 ) 17.9	17.9
非 製 造 業	69	40.3	( 33.3 ) 31.9	( 34.7 ) 36.2	37.7
規 模 別					
大 企 業	15	13.3	( 13.3 ) 20.0	( 20.0 ) 13.3	13.3
中 堅 企 業	37	38.5	( 30.8 ) 40.5	( 30.8 ) 37.8	37.8
中 小 企 業	56	37.3	( 27.1 ) 23.2	( 28.8 ) 28.6	30.4

(注) ( )書きは前回調査結果。



## 7. 企業金融

資金繰り判断は、製造業では「改善」超に転じ、非製造業では「悪化」超幅が拡大

### (1) 資金繰り

29年7-9月期の企業の資金繰り判断BSIをみると、前期(29年4-6月期)に比べ、製造業では「改善」超に転じ、非製造業では「悪化」超幅が拡大している。

規模別にみると、大企業では「改善」「悪化」同数から「改善」超となり、中堅企業では「悪化」超幅が拡大し、中小企業では「改善」「悪化」同数から「悪化」超となっている。

先行き(全産業)については、「悪化」超で推移する見通しとなっている。

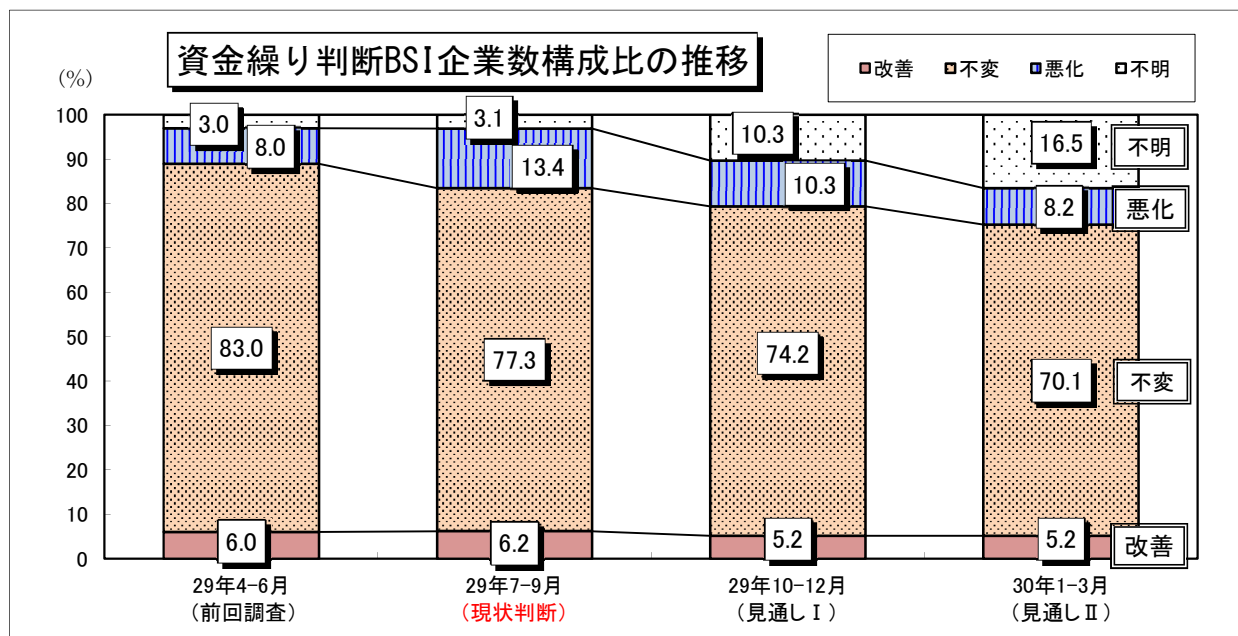
資金繰り判断 B S I (前期比「改善」-「悪化」の企業数構成比)

(単位:社、%ポイント)

	回答 企業数	29年4-6月 (前回調査)	29年7-9月 (現状判断)	29年10-12月 (見通しⅠ)	30年1-3月 (見通しⅡ)
全産業	97	▲2.0	( ▲3.0 ) ▲7.2	( ▲2.0 ) ▲5.2	▲3.1
製造業	37	▲2.6	( ▲5.1 ) 2.7	( ▲5.1 ) ▲8.1	0.0
非製造業	60	▲1.6	( ▲1.6 ) ▲13.3	( 0.0 ) ▲3.3	▲5.0
規模別					
大企業	10	0.0	( 0.0 ) 10.0	( 0.0 ) 0.0	0.0
中堅企業	34	▲5.6	( ▲5.6 ) ▲8.8	( 0.0 ) ▲8.8	2.9
中小企業	53	0.0	( ▲1.9 ) ▲9.4	( ▲3.7 ) ▲3.8	▲7.5

(注1) ( )書きは前回調査結果。

(注2) 金融、保険は調査対象外。



(注) 端数整理の関係により、「改善」+「不変」+「悪化」+「不明」=100にならない場合がある。

## (2) 金融機関の融資態度

29年7-9月期の金融機関の融資態度判断BSIをみると、前期(29年4-6月期)に比べ、製造業、非製造業ともに「緩やか」超幅が縮小している。

規模別にみると、大企業では「緩やか」超幅が縮小し、中堅企業では「緩やか」超から「緩やか」「厳しい」同数となり、中小企業では「緩やか」超幅が拡大している。

先行き(全産業)については、「緩やか」超で推移する見通しとなっている。

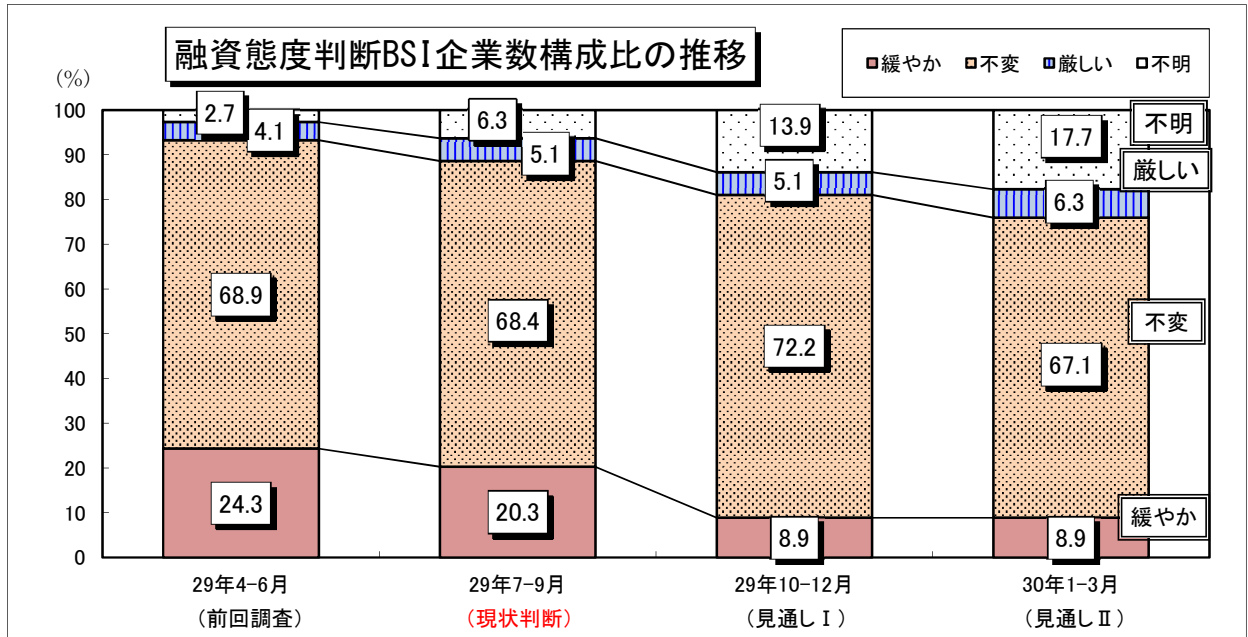
金融機関の融資態度判断 B S I (前期比「緩やか」-「厳しい」の企業数構成比)

(単位:社、%ポイント)

	回答企業数	29年4-6月 (前回調査)	29年7-9月 (現状判断)	29年10-12月 (見通しⅠ)	30年1-3月 (見通しⅡ)
全産業	79	20.3	( 16.2 ) 15.2	( 16.2 ) 3.8	2.5
製造業	31	13.3	( 10.0 ) 12.9	( 10.0 ) 6.5	6.5
非製造業	48	25.0	( 20.5 ) 16.7	( 20.5 ) 2.1	0.0
規模別					
大企業	10	25.0	( 25.0 ) 20.0	( 25.0 ) 20.0	20.0
中堅企業	28	14.8	( 7.4 ) 0.0	( 7.4 ) ▲3.6	▲3.6
中小企業	41	23.1	( 20.5 ) 24.4	( 20.5 ) 4.9	2.4

(注1) ( )書きは前回調査結果。

(注2) 金融、保険は調査対象外。

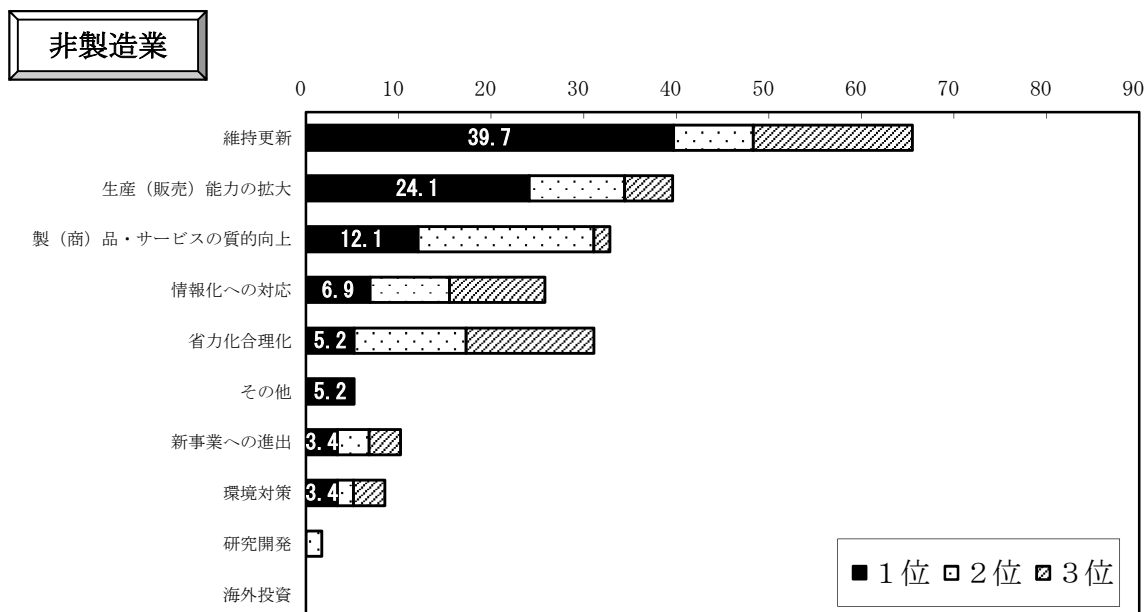
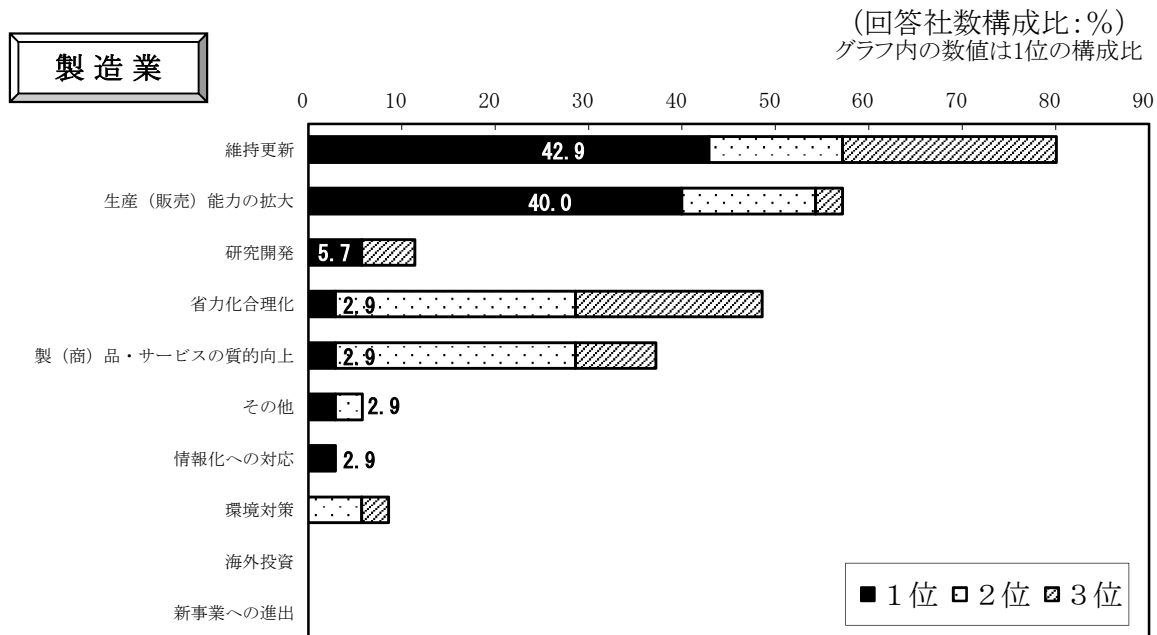


(注) 端数整理の関係により、「緩やか」+「不変」+「厳しい」+「不明」=100にならない場合がある。

## 8. 29年度における設備投資のスタンス

### 製造業、非製造業ともに「維持更新」が首位

29年度における設備投資のスタンスのうち最も重要度の高い項目(第1位回答)は、製造業、非製造業ともに、「維持更新」、「生産(販売)能力の拡大」の順となっている。



(注)10項目から、重要度の高い順に1社3項目以内の複数回答。